

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2021年2月1日  
派遣決定番号

## 地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

|       |                            |         |              |
|-------|----------------------------|---------|--------------|
| 団体名   | 北九州市                       | 代表者名    | 市長 北橋 健治     |
| 担当者部署 | 総務局行政経営課                   | 連絡先電話番号 | 093-582-2160 |
| 担当者役職 | 主任                         | 担当者氏名   | 高野           |
| 住所    | 802-8501 福岡県北九州市小倉北区城内1番1号 |         |              |

#### 1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

|                             |  |
|-----------------------------|--|
| アドバイザー                      | 廣川 聡美  |
| 評価                          | 大変よい   |
| 上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に) | 自治体DXの基礎的知識から、海外や他市町村の取組事例、改革推進の手法、各職員の役割等を丁寧に説明していただきました。業務改革を推進する上での各職員の役割や業務担当課が改革の主体となることの重要性等についてもお話いただき、大変有意義な内容でした。 |
| アドバイザーへの要望事項                |  |

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

|         | 派遣日        | 開始時刻      | 終了時刻   | 内休憩時間(分) | 活動時間(分) |
|---------|------------|-----------|--------|----------|---------|
| 3-1. 活動 | 2021年1月27日 | 10時00分    | 11時00分 |          | 60      |
|         | 派遣形態       | 講演(オンライン) |        |          |         |

### 4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可


|      |                           |
|------|---------------------------|
| 掲載許可 | <input type="radio"/> 掲載可 |
|------|---------------------------|

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

|  |   |                         |
|--|---|-------------------------|
| 5-1. 支援を受けた対象者                                   | 属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】   | 人数                      |
|  | 北九州市職員  | 6人                      |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 |   |                         |
| 事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)                            | 市役所のDXを推進していくため、全庁に自治体DXについての理解を促し、その意義や取組の方向性について認識を共有していく必要があること。   |                         |
| 支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)                           | 職員の啓発、自治体DX・市役所のDXへの理解が深まること。   |                         |
| アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)                      | デジタルガバメントの推進と自治体DXをテーマに、他自治体の取組事例等を交えて講演いただいた。今回の講演の動画を後日課長級、係長級を対象とした動画研修の教材とさせていただき、管理職の役割や心得、業務原課の担う役割、改革の推進手法など実務的なアドバイスもいただいた。 |                         |
| 支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)                     | 今回は、新型コロナウイルス対策のため、行革部門の職員数名での受講となったが、後日、本講演の動画をもって研修を実施するため、行革部門や情政部門以外の職員も自治体DXに関する理解を深める契機になると考えている。                             |                         |
| 具体的な成果物  | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。   | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容<br>持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)        | 特になし。   |                         |
| アンケートの内容と分析結果                                    | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。<br>アンケート未実施        |                         |
| 5-3. 今後の計画                                       | 最も当てはまるものをリストより選択下さい  | ⑤その他                    |
| 事業の最終的な目指す姿                                      | 本市の行政運営におけるこれまでの制度や慣習等を見直し、市役所のDXを実現すること。   |                         |

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



### デジタル化により、自治体をどう変える？

| デジタル化の効果 | サービスの变化               |
|----------|-----------------------|
| 自動化      | サービス対象が「マス」から「パーソナル」に |
| データ活用    | 「見える化」により、公平性・公正性を担保  |
| 最適化      | いつでも、どこでもサービスにアクセス可能  |
|          | 的確な課題把握により、最適な解決策提示   |
|          | 最適な組み合わせによる「エコな課題解決」  |
|          | バックエンド業務の高度化・自動化・効率化  |
|          | 経験や勘等の暗黙知を可視化させ、共有    |

経営のあり方、組織マネジメント、サービス内容・プロセス、職員の働き方などデジタル技術を活用して、統合的に変革する必要がある

Copyright 2021 Satomi Hirokawa 3